

小柳 誉也（こやなぎ よしなり）

自然科学研究科 博士前期課程

平成 27 年 12 月 3 日から 5 日に名古屋大学野依記念学術交流館（名古屋市）で開催された第 42 回有機典型元素化学討論会において、大学院自然科学研究科・数理物質科学専攻化学コース・博士前期課程 2 年の小柳誉也さんの研究発表が優秀講演賞を受賞しました。

高い発光性を持つ有機典型元素化合物は、典型元素の個性に応じたさまざまな発光特性を示すことから、有機 EL や蛍光イメージングの材料として大きな注目を集めています。本研究では、ホスホニオ基を有する発光性 π 共役ホスホール誘導体を新たに構築し、対アニオンや溶媒が発光特性に与える影響を系統的に調べました。その結果、発光特性はイオン対の解離平衡に強く依存することが明らかとなり、カチオン性ホスホールを母核とする有機発光材料の設計指針を手にすることができました。

発表者：小柳 誉也（新潟大学大学院自然科学研究科・博士前期課程 2 年）

（指導教員：俣野 善博 教授）

名称：第 42 回有機典型元素化学討論会 優秀講演賞

演題名：ホスホニオ基を有する π 共役ホスホールの合成と発光特性

リンク：<http://www.itbm.nagoya-u.ac.jp/mgec42/>

